

日病薬発第23-91号

平成23年7月13日

各病院薬剤部門の長 殿

一般社団法人 日本病院薬剤師会
会長 堀内 龍也



平成23年度「病院薬剤部門の現状調査」について
(お詫びとお願い)

平素より、薬剤師業務の向上のために日々ご活躍されていることと存じます。

さて、次回診療報酬改定での薬剤師の病棟配置の評価に向けて極めて重要な意義を持つ、平成23年度「病院薬剤部門の現状調査」について、6月22日付けで本会のホームページに掲載して、本調査にご協力をいただき、7月29日までに回答していただくようお願いいたしました。

本会としては、調査票、記載要領、調査の実施協力文書は、20床以上の薬剤師が所属するすべての施設（8263施設）へ6月末から7月5日までに発送を完了するよう予定しており、印刷会社から各施設に発送しておりましたが、印刷会社のトラブルで発送が大幅に遅れている事が判明致しました。このため、事務局職員も総出で発送作業を行い、7月12日にやっと発送が完了しましたが、各施設には調査票等が届くのが大幅に遅れることになり、皆様には大変ご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。

なお、本調査結果は平成24年度診療報酬改定で最重点要望事項として位置付けている「薬剤師の病棟配置への評価」を確実に実現させるために、9月末には調査結果をまとめて、厚生労働省に報告することが是非とも必要です。そのためには、調査票を核施設からお送り頂いた後、可及的速やかに集計することとしております。

従いまして、日数が少なくご多忙中大変恐縮ですが、7月29日（金）までに是非とも回答していただきますようお願いいたします。診療報酬をなんとか勝ち取り、中小病院、療養型病院、精神科病院を含む全ての病院の薬剤師業務の飛躍のために是非ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、一部の病院には厚生労働省から「平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成23年度調査）」のなかの「薬剤師病棟業務（薬剤師票）」の内容が本日開催された中医協総会で決定いたしました。間もなく送られることになるとは思いますが、これに該当した病院では、同様に調査にご協力下さるようお願い申し上げます。